

教師の主体性を支える遊びの指導の授業づくり (1)

—Building Blocks (積み木) の視点に基づくモデルの提案—

○真鍋健 菅原宏樹

(千葉大学教育学部) (千葉大学教育学部附属特別支援学校)

KEY WORDS: 遊びの指導 Building Blocks モデル 授業づくり

I. 目的

「遊びの指導」では、その理論・方法論の検討が十分でなく、個々の教師が安心して、あるいは遊び活動の意義を十分に理解しないまま、単元が進められていることの問題が指摘されている(進藤ら, 2015)。遊びの指導では、児童主導と教師主導の度合い、中心となる活動の種類・規模、児童サイズなども多様であり、まずは各地・各学校の実践を比較—集約しながら、授業作りや遊びの根幹をなす理論や方法論を拾い上げる必要があると考える。しかし、他方でそうした議論を促すためにも、今、一定のモデルの存在も必要とされているのではないだろうか。本稿では 90 年代以降議論を重ねてきた米国幼児特殊教育領域の文脈で開発された Building Blocks モデル (Sandall & Schwartz, 2008) に注目し、遊びの指導向けに改編した。このモデルについて説明を行い、今後の可能性について議論を行う。

II. Building Blocks モデルの背景 (真鍋, 2016 より抜粋)

BB モデルは米国にて障害幼児の指導をめぐる「幼児期特殊教育と幼児教育間の論争 (水内, 2002)」の末に導かれた「埋め込み型の指導方略」を、保育者らが容易に理解・実行できることを意図して開発された (詳しくは下記表ならびに真鍋・七木田, 2010; 金・園山, 2011 を参照)。

幼児特殊教育 (ECSE) / 早期介入 (EI)		年代	幼児教育 (ECE)
DECによるRPの開発	助成事業 ECRIIの展開		
		~	DAP初版
		91年	
		92年	
		93年	Bredenkamp反論
		94年	
		95年	
		96年	
		97年	DAP 第2版
		98年	
		99年	
		00年	
		01年	
		02年	

その主張は「生活や遊びに基づくカリキュラムにて、子どもの興味や関心を尊重しつつ、いかに大人の教育的な意図を交えるか」である。具体的には『①学びのチャンスを多く含む質の高い保育プログラムをベースとし、②その環境にアクセスしにくい子どもは活動とのギャップを埋めるべく活動の修正・調整を行い、さらに③その生活舞台にいるだけでは発達ニーズへの対応に不足する部分について、IEP で定められた目標を日常の自然な環境に埋め込み (embed)、④また必要に応じて集中的・個別的な指導を加える』という積み木の構造 (下記図参照) を内包する。

III. 遊びの指導の授業づくりのモデルとしての提案

①採用の意図

「大人の教育的な意図」に満ちた教育活動の中で「児童の興味や関心」をいかに保障させながら、(説明責任もかかる) 発達のニーズへの対応を行うべきか。この点について積み木の構造は、その構成要素だけではなく、考慮すべき事項や支援手法についての関係性・バランス (あるいは支援の特殊性や強度なども) を明確に示している。この点で、実践における授業づくりの拠り所となりうると思った。以下その構成要素についての説明を記す。

②-a 「質の高い遊び場づくり」

教師が用意する遊具や環境設定からなる「遊び場」そのものを扱う。教師が意図する遊び場の設定によって、その場で培われやすいスキルも、求める児童の姿も、あるいは教師の立ち位置も異なる可能性があり、「遊びの指導」の教育活動の全てのベースとして位置づく。

②-b 「遊び場の修正・調整」

特別支援学校に在籍する児童といっても、その発達段階・行動特性は多様であり、そうした多様性を「一つの(遊び)場」が完全に包容することは難しい。個々の姿に応じて、企画した/既存の遊び場の修正や微調整が求められる (例えば、物理的環境や遊具・道具の扱いやすさ、大人や他児の関与の調整、その子の興味の活用など)

②-c 「学習機会 (目標) の埋め込み」

フォーマル/インフォーマルアセスメントを通して集約・明確化された児童の発達のニーズと、“その遊び場”の照合を行う。子どもの意図や主体性を損ねずに「目標行動・スキル」を扱えそうなチャンスを探り、学びの瞬間を支える。

②-d 「その子に特化した指導戦略」

緊急性が高く、どうしてもその期間に指導することが求められる行動目標に関して、子どもの意図や主体性に制約を加えて、種々の専門的技法により介入を行う。

IV. 今後の展開に向けて

千葉大学附属特別支援学校の授業づくりの PDCA サイクルの可視化 (平成 27 年度同校紀要) を踏まえて、上記モデルの具体的な手続きを検討している。今後、適用事例を交えて、具体的な支援の経過を明示する。

V. 主要文献

Sandall, S & Schwartz, I (2008) Building Blocks for teaching preschoolers with special needs (2nd) Brookes.

(KEN Manabe, HIROKI Sugawara)

